

# じしょう ようちん 通信

2019

vol.40

企画・編集: (株)ASO



たくあん漬けってな〜に?  
どうやってつくるの?  
どんな味がするの?

いいにおい〜

年長  
さんの

## たくあん漬けづくり

おもしろすぎてあそびヒマがないよー!  
一にも二にも、すべてが新鮮!

たくあん漬けを  
つくってみる

## 1. タネまきから2か月、大根を収穫

“たくあんにする  
大根は、細長いよ”



## 2. だいこんを干す

風通りの良い所に  
2週間干すとシナ  
シナの干し大根に



## 3. 葉っぱを切り離す

葉っぱは漬ける  
ときに使うよ



## 4. 材料の分量をはかる

ぬか、塩、砂糖  
は分量通りには  
かるよ



慈照の子どもたちは園生活でいろいろなことを体験しています。  
この冬初めてチャレンジしたのは「たくあんづくり」。園の畑で掘っ  
て軒下に吊るして干した大根が大変身。先生と年長さんみんなで、  
材料の重さを計ったり、ぬかを作ったり、ワイワイ楽しいたくあん  
作りをレポートしました！

レポーター 渡辺りか

先生も子どもたちも  
ワクワクドキドキ初体験!!



昨年の9月中旬、園の畑に、たくあん用の大根の種  
をまき、11月末に、土の中で大きく育った大根を全園  
児で収穫しました。その大根を紐で縛って、園の軒下  
に吊るして2週間。今日は、その干し大根を、みんな  
と一緒に漬ける日です。

たくあんを作るのはみんな初めて。子たちだけでな  
く、たくあんの作り方は、よく知らないというママも  
多いかもしれませんね。

「干した大根は、どうなったかな」「しぼんで小さ  
くなった」「フニャフニャになったよ」「これから、  
その大根を園庭に運んで、たくあん作りをします」と  
先生。

「大根チーム」「塩チーム」「砂糖チーム」「糠チーム」  
に分かれて作業を進めました。用意したのはひと樽に  
つき、大根10キロ、糠1.5キロ、塩と砂糖を500g  
ずつ。秤を使って、ちよっぴり緊張しながらいてねい  
に重さを計りました。





## 8. 涼しいところに運び、保管する

1ヶ月ほど寝かせたら、たくあんの出来上がり



## 7. ふたをして重しをする

最後に葉っぱと重しをのせたら完了



おいしくな〜れ!  
おいしくな〜れ!

## 6. 樽に大根を漬けていく

だいこんとぬかを交互に入れるよ



## 5. 材料をボールに入れ混ぜ合わせる

ぬか、塩、砂糖に、「柿の皮」「リンゴの皮」「唐辛子」を混ぜるとおいしくなるよ



子どもたちが秤で計ってまぜて作った糠と大根を、大きな樽に隙間がないように交互に詰めます。最後に大根の葉っぱを乗せて、さらにその上に重しをのせて完了です。

「おいしくな〜れ! おいしくな〜れ!」のおまじないの言葉をみんなで唱えました。冬休みが終わる頃には美味しいたくあんの出来上がり。大根はどうなっているかな。どんな味になっているかな。とっても楽しみです。美味しくできたらみんなで一緒に食べようね!

「おいしくな〜れ!」のおまじない!!

## 園長先生の one point

園ではさまざまな食育体験に取り組んでいますが、「たくあん漬け」は初めての試みです。最近では漬け物を作る家庭は少なくなりました。そこで昔ながらのたくあん漬けに挑戦してみるのも面白いと思い、年長さんとやってみました。葉っぱを切ったり、秤を使って材料の重さを計ったり、先生と一緒にとても楽しそうに作業していました。

自分たちで掘った大根を干すことで変化の様子を観察したり、樽に詰めたり…。たくあんの味とともに、いつまでも忘れない楽しい思い出になると思います。



編集後記

で、結局  
ココが良かった!

- ♥大根の収穫、干す、漬ける、食べるまでの一連の流れを実体験できた。
- ♥秤を見て重さを計ることに興味津々だった。
- ♥みんな一緒に共同作業がとっても楽しそうだった。
- ♥家ではめったにやらない「たくあん漬け」が新鮮だった。
- ♥1ヶ月後の出来上がりが楽しみだね!



＼子どもの会話力を育てたい！／

# 親子で楽しくおしゃべりしていますか？

2～3歳にもなると、「おしゃべりがずいぶん上手になったな」と感じることもふえる一方で、「口で言っても通じない」「聞いても答えが返ってこない」など、子どもとのやりとりにもむかしさを感じることも。でも、ちょっとした工夫で親子の会話がもっと楽しくなるとしたら……そんな小さなヒントをご紹介します。 お話／立正大学 准教授 岡本依子先生



## ★親子の会話ってどうして大切？ “いつもの大人”とのやりとりが 社会性や思考力を育てます



そもそも人間にとって、言葉って何でしょう？ 言葉は人と人とがやりとり（コミュニケーション）をするためになくてはならないもの。また、人間は言葉を使ってものを考える生き物なので、言葉をはぐくむことは思考力を育てることにつながります。

言葉を使って人とやりとりをする中で社会性も身につく、考える力も身につくという意味では、言葉は子どもが生きていくための基礎をつくるものだと言えるでしょう。

子どもの言葉の力を育てるには、「言葉を使ってやりとりをする＝会話をするって楽しいな」という経験を積み重ねていくことがとても大事です。〈いつもの大人＝ママやパパなど身近な大人〉とのやりとりを通じて、「人とのやりとりって楽しいな」という気持ちが育ちます。それはこの先、子どもがより広い社会へと出ていく上でのお守りにもなります。

といっても、「子どもに正しい言葉がけをしなくては」などとむずかしく考える必要はありません。子どもの「カタコト」や「いいまちがい」など、幼児期限定のかわいいお楽しみも味わいながら、親と子の言葉のキャッチボールをたっぷりと楽しんでほしいなと思います。

## ★子どもとおしゃべりするとき、 どんなことに気をつけたらいいの？

### ♥言葉だけでなくスキンシップなどもプラスして

赤ちゃんに語りかける時は、表情を大げさにしてみたり、抑揚をつけてみたり、顔をのぞきこんだり、身体に手を添えたりと、言葉にプラスした働きかけを自然にしていたと思います。

言葉でのやりとりができるようになると、大人はつい「もう言葉だけで伝わる、口で言えばわかる」と思ってしまいがちですが、2～3歳くらいではまだまだ言葉を理解する力は発達途中。ママに叱られているときも、ママの言っていることはよく理解できないけれど、その表情や声色から「ママは怒っている」ということがわかるというようなこともよくあります。

特に年齢が低い子どもとのやりとりでは、言葉だけでなく表情やスキンシップなど「言葉以外の情報」もちょっとプラスしてあげると、やりとりがよりスムーズになります。

### ♥まずは「イエス」「ノー」で答えられる問いかけから

幼稚園から帰ってきて、「今日はなにをしたの？」と聞いても、「わかんない」「忘れた」。特に男の子は年長さんまでそんな感じが続くこともあるようです。幼稚園では1日にたくさんのことを経験するので、それをうまく整理して話すというのは、子どもにとってはとてもむずかしい作業。けっして、めんどくさいから答えないというわけではないのです。

こんな場合は、まず、イエス、ノーで答えられる問いかけから始めてみましょう。いきなり「何をしたの？」ではなく、「お外で遊んだの？」と聞いてみます。イエスなら、「そう。お外でなにをして遊んだの？」、ノーなら、「じゃ、お部屋で遊んだの？」とつなげていくと、子どもの頭の中に幼稚園での光景が思い出されてきて、「〇〇で遊んだよ」という説明ができるようになります。問いかけは「お絵かきしたの？」でもいいし、「〇〇ちゃんと遊んだの？」とお友だちの名前を出してみてもいいですね。

また、「AとB、どっち？」と選ばせる方法もあります。自分からあまりおしゃべりしない子には、「何して遊ぶ？」より、「お絵かきする？ 折り紙がいい？」「お絵かき、クレヨンにする？ ペンにする？」などと問いかけたほうが子どもは答えやすいので、やりとりがうまく続きやすいでしょう。

### ♥子どもの言葉をくり返してみよう

子どもが「〇〇ちゃんと遊んだ」と言ったら、「そうかー。〇〇ちゃんと遊んだんだね」とくりかえして言ってみます。すると、子どもは「あ、ママはこの話に興味を持ってくれたんだな」ということに気づいて、そのことをよりくわしく語ろうとします。

子どもにとって、大好きな人が自分に興味を持ってくれるというのはすごくうれしいこと。子どもの言葉をくり返すことは、「ママはあなたのそのお話をもっと聞きたいよ！」というサインになります。

### ♥ママ、パパ以外の人との出会いも少しずつ

会話力とは、つまりは「人とやりとりする力」なので、年齢に応じて人間関係も少しずつ広げていけたらいいですね。幼稚園や保育園の先生、おじいちゃんおばあちゃん、お友だちのママなど、家族以外の人たちとのふれあいをふやしていくことは、子どもの会話力、社会性を豊かにはぐくむことにつながります。

取材・文／中島恵理子



岡本 依子 Yoriko Okamoto

立正大学社会福祉学部子ども教育福祉学科准教授。首都大学東京大学院にて博士（心理学）取得。専門は発達心理学（親子コミュニケーション、親への移行、地域子育てほか）。保育士の資格も持つ、自他ともに認める「赤ちゃんオタク」。子育て中のママの気持ちに寄り添ったあたたかなアドバイスが好評。

発行：（学）大乘学園 幼保連携型認定こども園

慈照幼稚園

☎ 027-268-2557

〒379-2117 前橋市二之宮町1812-7

<http://www.jisho.ed.jp/>

